

しょうがくせい ほう か こ あつ
小学生放課後集まれ!

もり あそ ば
森が遊び場

マイつりざお作って ザリガニ・ゲットだぜ!!

30セット
げんてい

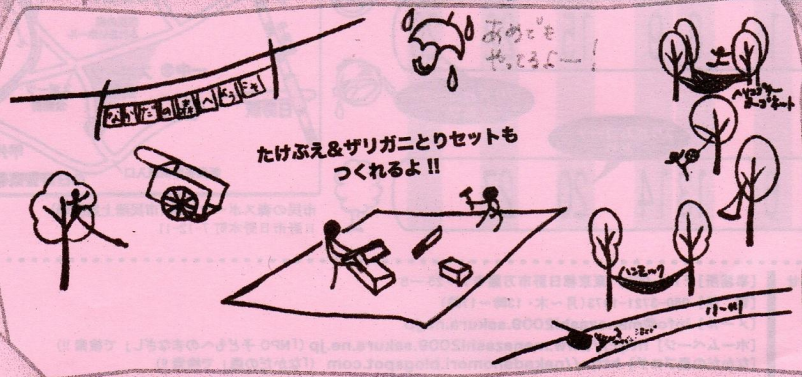
たけぶえ
(20コげんてい) も
つくれるよ!!

6/29 と 7/20

(どちらも ^{きん} ^び 金曜日)

- ばしよ** : スポーツこうえん ちゅうしゃじょうよこ
- じかん** : 10じ~5じ
- もちもの** : ザリガニとりセット(30セット)&
たけぶえ(20コ)作りは、50えんよういしてね
- りょうきん** : だれでも むりょうで あそべるよ
※いちど いえに かえってからきてね。
おうちのひとにあそびばしよをしらせてね。

もり あそ
「なかだの森で遊ぼう!」のちず



(読売新聞 2011年12月5日朝刊より抜粋)

体験を重視し生きる力を育てる

11月25日、東京・世田谷の区立公園の一角で、子供たちがたき火をして遊んでいた。

(中略)「こ」羽根木ブレイパークには、普通の公園や学校のような「禁止事項」はない。子供たちはノコギリで木を切り、火をおこし、木に登って遊ぶ。ちよつと手を切ったり、擦り傷をつくることもあるが、そこはNPOのフーリーリーダー」と地域の大人が目配りしている。見守るが、自分で、それが基本だ。渋谷区の主婦、吉川薫さん(40)は、長男の佑太君(7)を連れてきた。「震災後、たくましさを感じてほしい」とより願うようになってほしい。佑太君は火を初めて間近で見ではしゃいだ。「最も優先すべきは、人が死なないことだ。その視点で欠落している」東日本大震災から半年後の9月7日、文科科学省が設置した防災教育の有識者会議、群馬大の片田敏孝教授(51)が叫ぶように訴えた。(中略)

「大きな地震が起きたら自分で考えて逃げる」片田教授は約7年前から、岩手県釜石市内の小中学校でそう教えてきた。三陸海岸で津

「体験を重視し生きる力を育てる」と唱えるが、危険なことばせせない。文科省も学校もそうしてきた。野球、サッカー、プランコの立ちこぎ、滑り台の逆のぼり。放課後の校庭で10項目を禁止する小学校もある。かすり傷でも「なぜすぐに知らせない」と怒る。「危ないから滑り台を撤

去して」と求める。そんな保護者が少なからずいることも影響している。小学6年生の2割は昆

虫を捕まえた経験が、4割はキャンプをしたことがほとんどない。11月、そんな調査結果を国立青少年教育振興機構が公表した。文科省調査などでも、外で遊ばない子供が増え、転んだ時手をつくことができず鼻の骨を折る、顔に飛んでくるボールをよけられないなどの例が目立つことが分かっている。(中略)「大人が見守り、小さな痛みを伴う体験をさせることが、危険を察知し、自分で判断できる力を育てる」

安全教育に詳しい松岡弘大阪教育大名誉教授(72)の指摘だ。

うちの子も外で思いっきり体を使って遊んでほしいな。

A(危ない)、K(汚い)、U(うるさい)、大人にとってAKU(悪)と思うことが、子どもにとっては面白いんだよー!



いつも子どもたちを温かく見守ってくれる人がいるから安心

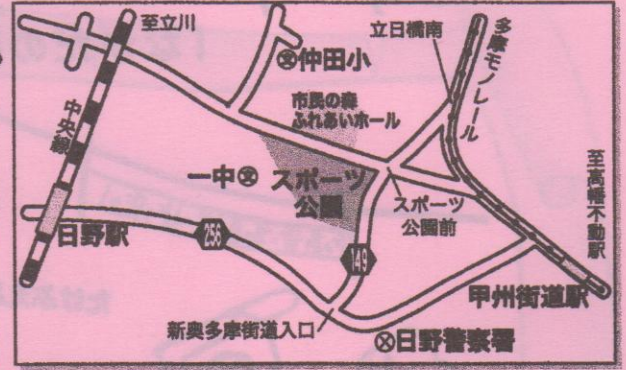


子どもの「やってみたい!」がとことんできる場にしたいね。

●「なかだの森で遊ぼう!」開催日カレンダー (毎週金曜日&第2土曜日開催)

	Fri	Fri Sat	Fri	Fri	Fri
6月 June	1	8 9	15	22	29
		つりざおコーナーあり			つりざおコーナーあり
7月 July	6	13 14	20	27	

●「なかだの森で遊ぼう!」開催場所地図



市民の森スポーツ公園(市民陸上競技場) 日野市日野本町 7-12-11

お問い合わせ | 【事務所】〒191-0024 東京都日野市万願寺1-25-8
 【電話】050-3721-1973(月~木・13時~17時)
 【メール】info@manazashi2009.sakura.ne.jp
 【ホームページ】http://www.manazashi2009.sakura.ne.jp (「NPO 子どもへのまなざし」で検索!!)
 【なかだの森ブログ】http://nakadanomori.blogspot.com (「なかだの森」で検索!!)